

参加した生徒に感想を聞きました



角地 真桜さん (2年・橋場)

自分の英語力に自信がついた

10日間、ほとんど英会話で生活してきたので、自分の英語力に自信ができました。あこがれだったドイツの文化や歴史を学び、現地の人もたくさん交流でき、充実感でいっぱいです。今回の体験をこれからの生活に生かし、自分の夢に向かって頑張ります。



菅野 一樹さん (2年・田代)

かけがえのない経験ができた

英会話だけで生活し、多くのことを学んだ充実した10日間でした。ホストファミリーに優しく接していただき、とても楽しく、そしてかけがえのない貴重な経験をすることができました。ホストファミリーや関係者の皆さんに心から感謝しています。



長朶 祐二さん (2年・山岸)

現地での優しい対応に感謝

例年よりホームステイの期間が長く、またプレゼンの回数も多く、現地の方々とふれあう機会がたくさんありました。質問の内容が理解できず、迷惑をかけてしまう場面もありましたが、その都度優しく対応していただきました。貴重な体験にとっても感謝しています。



山下 勇太郎さん (2年・四日市)

異なる文化や習慣を肌で感じた

私がお世話になったホストファミリーは、とても活発な人たちで、多くの貴重な体験をすることができました。近所の城を散歩したり、スカッシュをしたり、現地の文化や習慣を肌で感じることができました。多くのことを学んだ研修を今後の生活に役立てていきます。



江田 彩夏さん (1年・元木)

自分の英語が通じてうれしい

一番の思い出はホームステイ。英語だけの会話に最初は戸惑いましたが、日が経つにつれ、コミュニケーションがとれるようになりました。歴史や習慣もたくさん教わり、実際に体験することもでき、一生忘れられない貴重な10日間になりました。



六角 優希さん (1年・田子)

もっとドイツの文化学びたい

ホームステイでは、生活習慣が分からず最初は戸惑いましたが、私のつたない英語でも、現地の方と会話することができました。住宅街はレンガ造りの家が並び、馬が散歩している光景に驚きました。機会があればまたドイツに行き、歴史や文化をもっと学びたいです。



①参加した6人の葛巻生(フランクフルト市内にて) ②歓迎夕食会であいさつする鈴木町長 ③ホストファミリーとのお別れ会では葛巻神楽の鶏舞を披露 ④高校の授業に参加し英語で町や学校を紹介した葛巻生

第19回欧州視察「ワインとミルクの旅」多くの感動、あふれる笑顔

European inspection wine & milk

葛巻高原食品加工(株)とくずまき高原国際交流推進協議会(中崎和久会長)主催の第19回欧州視察「ワインとミルクの旅」は、11月20日から11月29日までの10日間の日程で行われました。今回の訪問は、鈴木重男町長を団長に、葛巻高校の松戸健作教諭が同校1、2年生の生徒6人を引率。このほか、(一社)町畜産開発公社と町職員が参加し、総勢10人の参加者はヨーロッパの旅を満喫しました。松戸教諭と生徒たちは、ドイツのマルブルク市で、6日間ホームステイをしながら現地の高校の授業に参加しました。生徒は、英語で町や学校の取り組みについてプレゼンテーションしたり、葛巻神楽の鶏舞などを披露。初めての体験の数々に、感動と笑顔あふれる時間を過ごしました。鈴木町長らは、マルブルク市やデンマークのロラン島で、クリーンエネルギーやワイン醸造、乳製品加工、「森の幼稚園」などの取り組みを視察しました。



with a host family

ホームステイでお世話になった家族と



葛巻高校からの参加者(フランクフルト市内オペラハウス前にて)



人口約8万人、マルブルクの街並み。手前はルター教会(マルブルク城から撮影)



マルブルク=ビーデンコプフ郡知事(中央)を表敬訪問した鈴木町長ら